



哲学する本棚



どうして人は誰かの記念日や、〇〇周年を祝うのだろうか？

6つのキーワードにそって、生誕150年について考える本を50冊選びました。
哲学館ホワイエに期間限定の読書空間が出現します。本を手にとって、読んで、考えてみてください。

おめでたい
誕生日

キリのいい数

時間って
なんだろう？

思い出を残す
ための方法

150年の歴史？

幾多郎の記念日

[本の展示会] 2021年1月30日(土) — 3月14日(日)
会場：哲学館 B1F ホワイエ <入場無料>

新型コロナウイルス
感染症対策のため、会場ではマスクの
着用、手指の消毒、検温にご協力を
お願いいたします。

★展示期間中、他にも「本」にまつわる催しを行う予定です。

企画展「本になる—西田幾多郎の執筆・校正・編集—」関連イベント

2021年2月27日(土) | 映画「つつんで、ひらいて」上映会 ⊕ 『西田幾多郎全集別巻』刊行 岩波書店担当編集者と浅見館長のトーク

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1

TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320

URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>

E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

■facebook でもイベント関連情報を随時更新しています。



開館時間 ■ 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

休館日 ■ 月曜日 (祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)、メンテナンス期間
今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては変更となる場合があります。ホームページをご確認ください。

交通アクセス

【車利用】北陸自動車道 [金沢東IC]—国道159号線 (約20分)
のと里山海道 [白尾IC]—(約5分)

【JR利用】金沢駅—IRいしかわ鉄道線・七尾線 (約25分)—宇野駅—
—徒歩 (約20分)—哲学館





「生誕150年おめでとう」 展示書籍のご紹介



1 おめでたい誕生日



ハッピーバースディ、幾多郎さん!!
ところで、どうして誕生日はめでたいの?

『生まれてこないほうが 良かったのか?』

森岡正博/著 筑摩書房
仏教、ショーペンハウアー、現代の反出生主義。
「生まれてこないほうがよかった」という考えは
昔からあったし、今もある。
「誕生」はもしどうしたら肯定できるのか?



2 キリのいい数



「149」でも「151」でもなく「150」
「150」は素敵な、キリのよい数に見える。
そもそも数って何だろう?

『アリになった数学者』

森田真生/著 福音館書店
アリには、かぞえるための指がない。
たくさんを同時に見わす視力もない。
ものを1個、2個、3個と数えるのは人間だけ
なのかもしれない。
アリにとっての数とはどんなだろう?



3 時間ってなんだろう?



時間のあるこの世界では、
知らぬ間に時が経ち、物は壊れて失われる。
だからこそ人は記念日を作るのかもしれない。

『時は流れず』

大森荘蔵/著 青土社
過去を思い出す、と言ったりする。ないものを
思い出すのは変だから、過去はあるのだろう。
でも本当にそうだろうか?
過去は想起であり、想起とは過去を言語的に制
作することだ、という大森荘蔵の時間論。



4 思い出を残すための方法



人は、思い出を残すために記念日を祝うのかもしれない。
私たちが生きた思い出や痕跡を残すには、
どんな方法があるのだろうか?

『思い出になるおべんとう』

アンジェロ・コッツオリノ/著 アスコム
おべんとうは食べたらなくなる、食べなくても腐る。
思い出は食べた人の心の中に残るのだろうか?
その人だって、忘れるし、いつか死ぬ。
忘れられても残るのは、たとえばこの本のように
活字で残されたレシピかもしれない。



5 150年の歴史?



時間がたてばなんでも歴史になるわけではない。
誰かが語ってはじめて歴史が生まれる。
歴史を物語るとはどういうことか?

『歴史を哲学する』

野家啓一/著 岩波書店
人間は、神様のように唯一の正しい歴史を語る
ことはできない。私たちは過去を想起し、そ
の痕跡からなんとか歴史に迫ろうとする。そん
な人間にとって「歴史的事実」とはどんなもの
だろう。



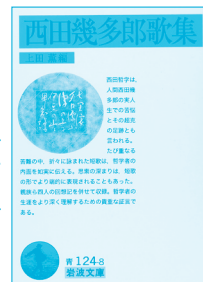
6 幾多郎の記念日



誕生日、結婚記念日、離婚&解雇記念日
幾多郎のいろいろな記念日

『父』『西田幾多郎歌集』

西田外彦 他/著 (上田薫 編) 岩波書店
幾多郎の誕生日は2つある。一つは戸籍の誕生日
「明治元年8月10日」。もう一つは「明治3
年5月19日」、こちらが正しい誕生日である。
幾多郎に早く教育を受けさせるため、父親が戸
籍を書き換えたために2つの誕生日が生じた。



図書室の紹介

哲学館の1階の図書室には、哲学に初めて触れる方でも楽しく読める絵本や入門書から、本格的に勉強をした
い方のための本まで、さまざまな哲学の本が9,000冊以上並んでいます。なかには西田幾多郎が生きていた
時代の古い本もあります。どなたでも閲覧できますので、気軽に入室して探索してみてください。